

モニター壁掛け金具(EEX-TVKA031シリーズ)組立説明書

この度は弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。
ご使用前にこの組立説明書をよくお読みください。
とくに「安全上のご注意」は必ずお読みになり、安全に正しくご使用ください。
この組立説明書はお手元に置き、いつでも確認できるようにしておいてください。

Ver.1.0

組立説明書は組立て後も大切に保管してください。

この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

★用意していただくもの・・・プラスドライバー、スパナ(10mm)、電動ドリル、プラスチックハンマー、鉛筆、毛布、手袋(組立て時のケガ等を防ぐために着用することをおすすめします)

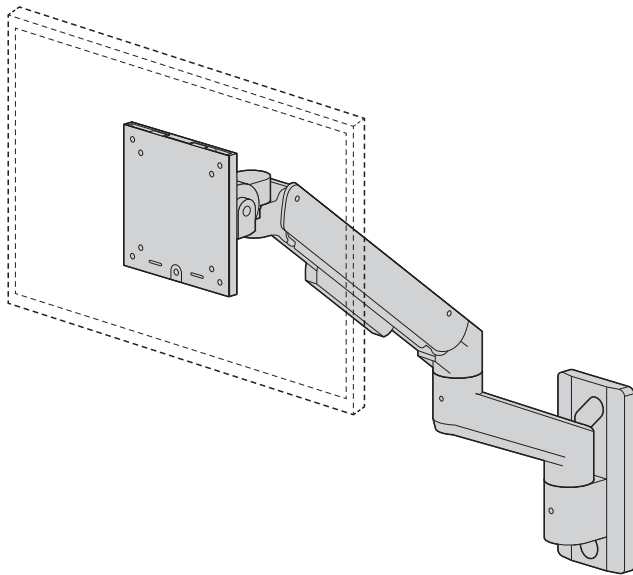
必ずお守りください

本製品の取付けには特別な技術が必要ですので、必ず専門の取付け工事業者へご依頼ください。お客様による工事は一切行わないでください。

※販売店様・工事業者様へ

- 組立説明書をよく理解していただいたうえで取付けてください。
- お客様の安全のため、専門的に壁面を診断のうえ、十分な強度を持つ最適な取付け方法を決めて取付けてください。
- 作業は必ず大人二人以上で行ってください。
- 組立説明書で指定しているボルト類や固定具は全数を確実に取付けてください。
- 取付け不備や取扱い不備による事故や損傷については、弊社は責任を負いません。
- 本製品を壁面に設置後、撤去しますと壁面に取付けボルト、アンカーが残ります。ご了承ください。
- モニターを長期間設置しますと、モニターの熱や空気の流れで壁面が変色することがあります。ご了承ください。

ねじ穴のピッチ75×75、100×100mmのモニターを取付け可能です。



安全上のご注意 (必ずお読みください)

この組立説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

この記号は「してはいけないこと(禁止)」を示しています。

この記号は「必ず実行して欲しいこと(強制)」を示しています。

この記号は「気をつけてほしいこと(注意)」を示しています。

■ 取付け場所について

警告 下記の内容を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

強度が不十分な壁面や垂直でない壁面、平面でない壁面には取付けしないでください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。

振動の多い場所や、ドアや家具が当たるなどの力の加わる場所には取付けしないでください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。

湿気、温度の高い場所や、屋外、油煙のあたる場所には取付けしないでください。火災、故障、感電など思わぬ事故の原因になります。

エアコンの近くやホコリの多い場所には取付けしないでください。火災、故障、感電など思わぬ事故の原因になります。

通風孔をふさぐような場所や、天井には取付けしないでください。火災、故障、感電または落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。

壁面はモニターと本製品を合わせた荷重に長期間耐える十分な強度が必要です。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。

地震や予想される振動、外力にも十分耐えるように設計し、取付けてください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。

必ず柱や梁などの堅牢な芯材で荷重を受けように取付けてください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。

壁面への取付けボルト類は付属してありますが、材質や強度によって不都合場合があります。その場合は強度に十分ご注意のうえ、市販の適切なボルト・アンカー類をご用意ください。

壁面にはモニターの重量の4倍の力に耐える強度が必要です。

注意 下記の内容を無視して誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性または財産に損害が発生する可能性がある内容を示しています。

各家屋によって壁面の構造や強度は異なります。工事業者様が専門的に壁面を診断のうえ、最適な取付け方法を決めて工事してください。

本書に記載してある取付け方法は一例として参考にしてください。

鉄柱や鉄骨には取付けできません。

■ 取付け方法について

警告 下記の内容を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

耐荷重を超えるモニターを取付けしないでください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。

専門の取付け工事業者以外は取付け工事を行わないでください。工事の不備により、落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。

部品の改造をしないでください。破損した部品・ボルト類は使用しないでください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。

指定しているボルト類や固定具は全数を確実に取付けてください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。

必ず付属の部品をご使用のうえ、取付け手順を守ってください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。

取付け作業は必ず大人二人以上で行ってください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。

取付け作業中はモニターや周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。破損、感電など思わぬ事故の原因になります。

部品やモニターに手や指などを挟まないようにご注意ください。

■ 取付け後のご使用について

警告 下記の内容を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

ボルト類がゆるんだ状態で使用しないでください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。

ぶら下がったり、コードを引っ張るなど、荷重をかけないでください。落下や破損、感電、けがなど思わぬ事故の原因になります。

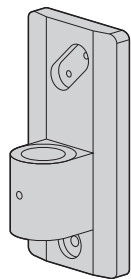
角度やボルトの調整、取外し、移動などは必ず専門の工事業者にご依頼ください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。

異常が発生した時は電源プラグを抜き、人が近寄れないよう処置をしてください。落下や破損、感電、けがなど思わぬ事故の原因になります。

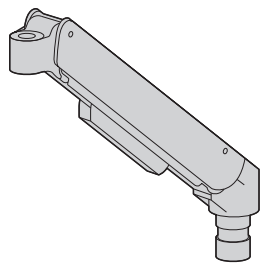
お子様に触れさせないよう十分ご注意ください。落下や破損、感電、けがなど思わぬ事故の原因になります。

組立て部品

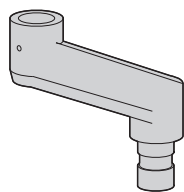
※部品の欠品や破損があった場合は、品番(EEX-TVKA031BKなど)と下記の部品番号(①~⑯)と部品名(スペーサーGなど)をお知らせください。



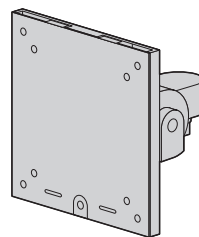
①壁面ブラケットA×1個



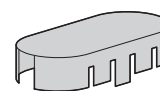
②アームB×1本



③アームC×1本

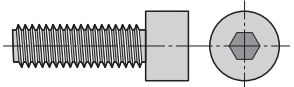


④ブラケットD×1個



⑤キャップE
×1個

<使用ボルト>



⑥ボルトF×1本 (M8×25)



⑦スペーサーG
×1個



⑧キャップH
×1個

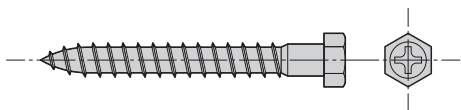


⑨マイナスドライバー付き
六角レンチI (4mm)
×1本

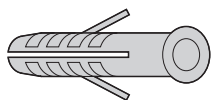


⑩六角レンチJ (6mm)
×1本

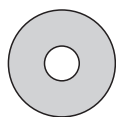
<壁取付け用ボルト類>



⑪タッピングボルトW-A×3本 (6.3×55)

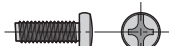


⑫アンカーW-B×3本

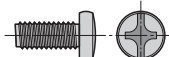


⑬ワッシャーW-C×3枚

<モニター取付け用ボルトセット>



⑭ボルトM-A×4本 (M4×12)



⑮ボルトM-B×4本 (M5×12)



⑯ワッシャーM-C×4枚

取付けの前に

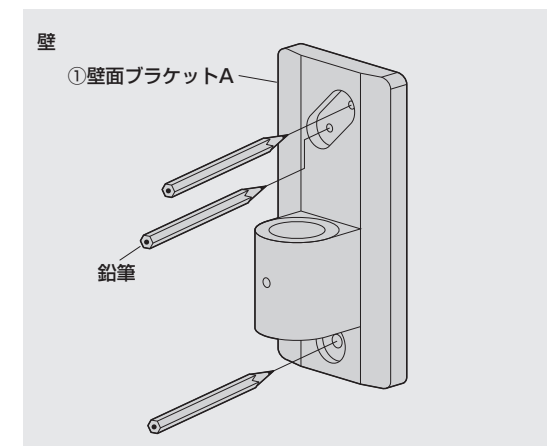
⚠ アンテナや周辺機器との接続に必要なコード類は長さや配線方法を事前に計画・準備してください。取付けた後からでは、モニターの形状や取付け位置によって、接続や配線が困難な場合があります。

⚠ 各家屋によって壁面の構造や強度は異なります。本書に記載してある取付け方法を参考にして、工事業者様が専門的に壁面を診断の上、十分な強度を持つ最適な取付け方法を決めて工事してください。

1. 壁面ブラケットAを取付ける位置を決めます。
※必ずコンクリートの壁か、もしくは壁の内部に木製の芯材がある場所に取付けてください。
壁面はモニターと本製品(3.3kg)を合わせた荷重に長期間耐える十分な強度が必要です。

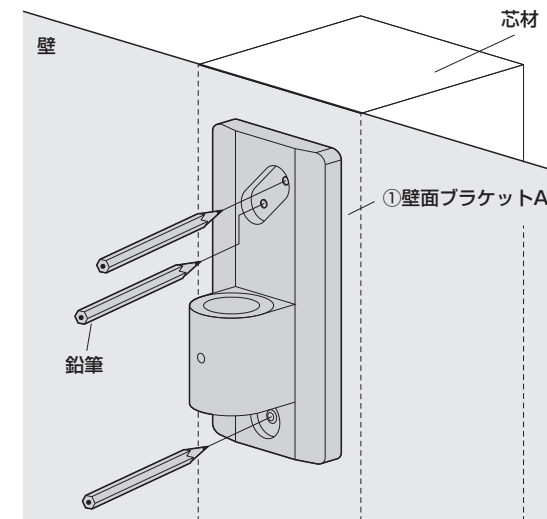
<コンクリートの壁への取付け>

壁面ブラケットAを設置する壁に当ててテンプレートにし、取付けの穴を開ける位置**3ヶ所**に印をつけます。



<木製の芯材がある壁への取付け>

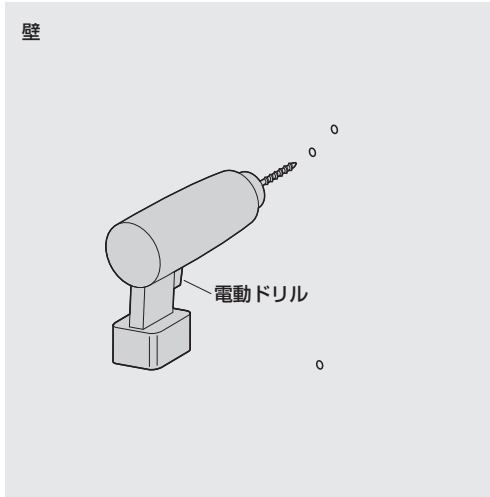
壁面ブラケットAを設置する壁に当ててテンプレートにし、取付けの穴を開ける位置**3ヶ所**に印をつけます。



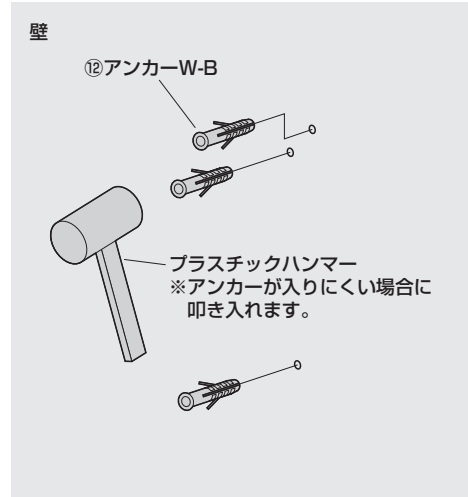
2.壁面に壁面ブラケットAを取付けます。

<コンクリートの壁への取付け>

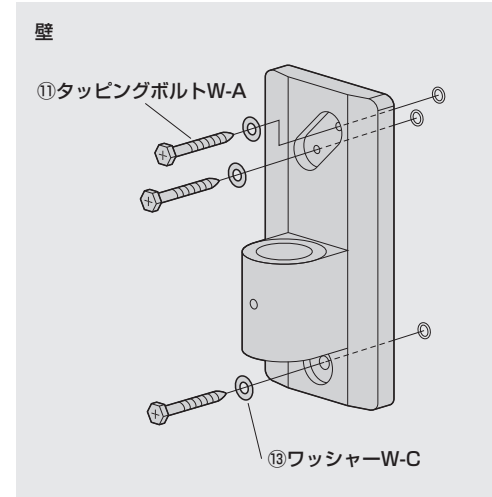
- ❶ドリルを使い壁に印をつけた3ヶ所に**直径10mm、深さ60mm**の下穴をあけます。



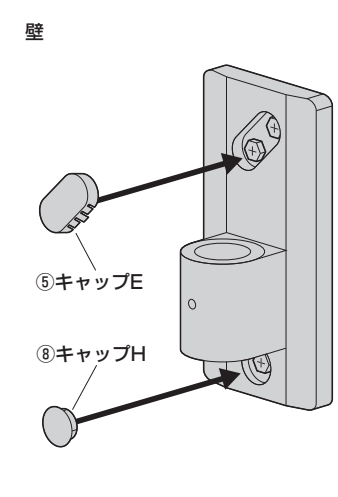
- ❷下穴にアンカーW-Bを差し込みます。



- ❸タッピングボルトW-Aで壁面ブラケットAを固定します。

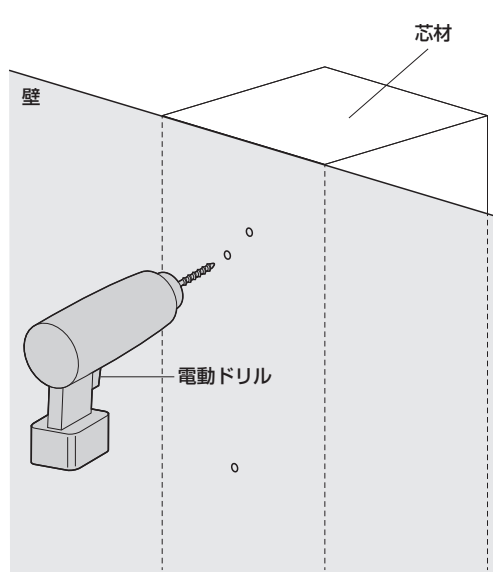


- ❹キャップを取付けます。

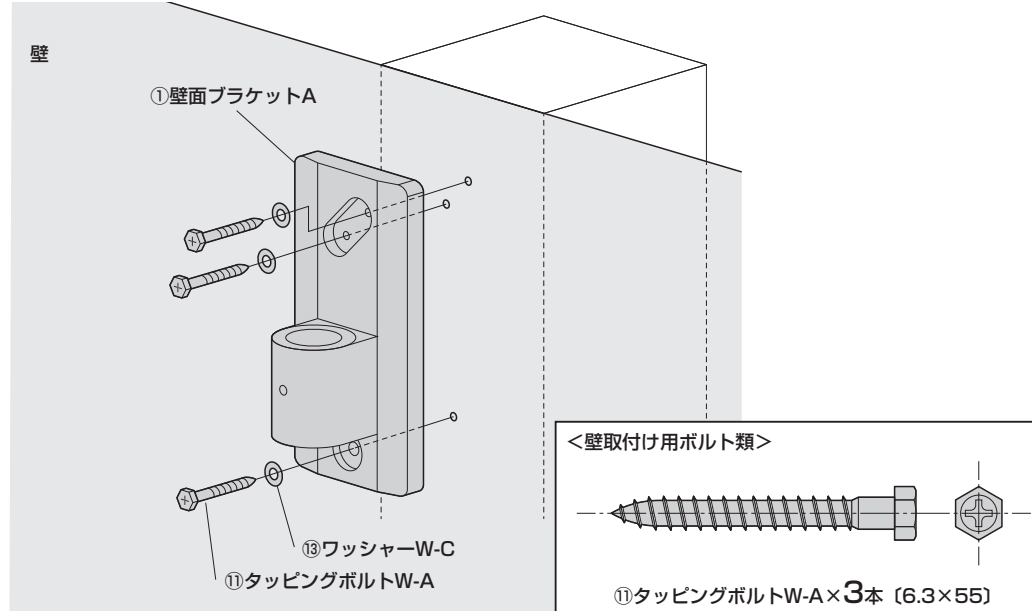


<木製の芯材がある壁への取付け>

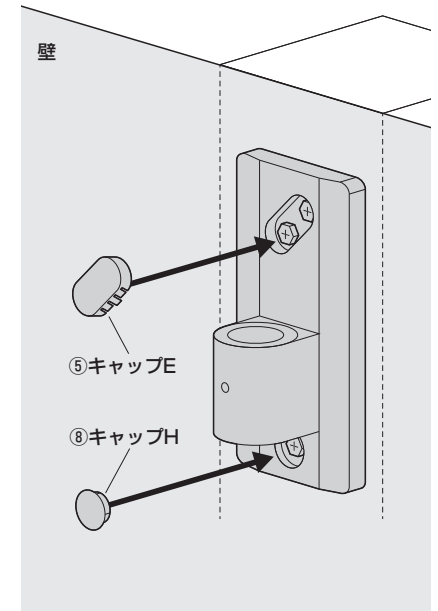
- ❶ドリルを使い壁に印をつけた3ヶ所に**直径4.5mm、深さ55mm**の下穴をあけます。



- ❷タッピングボルトW-Aで壁面ブラケットAを固定します。



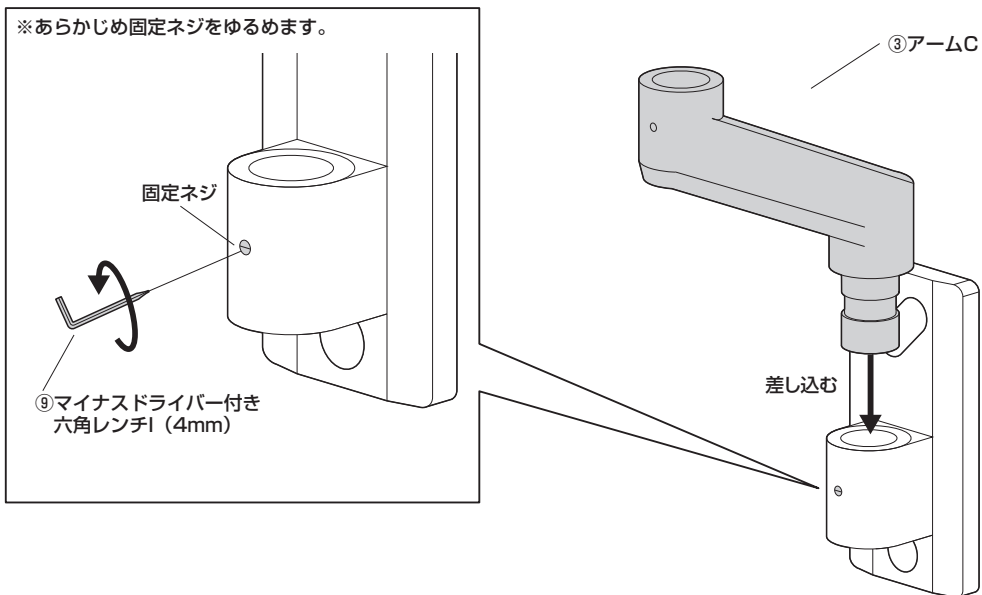
- ❸キャップを取付けます。



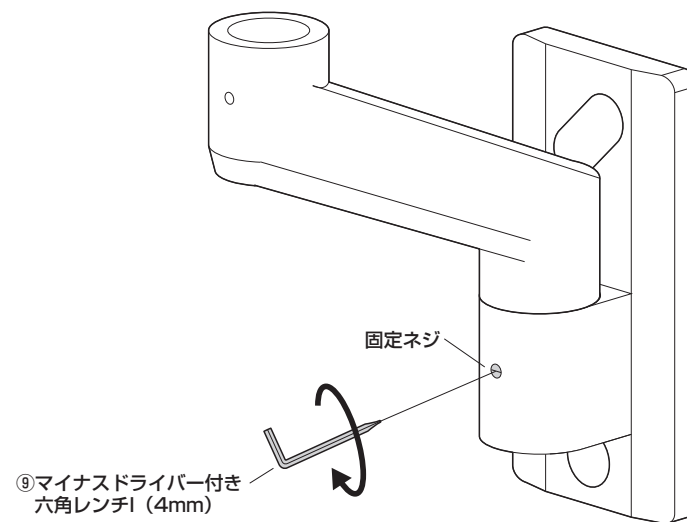
3. アーム C を取付けます。

①アームCを差し込みます。

※あらかじめ固定ネジをゆるめます。

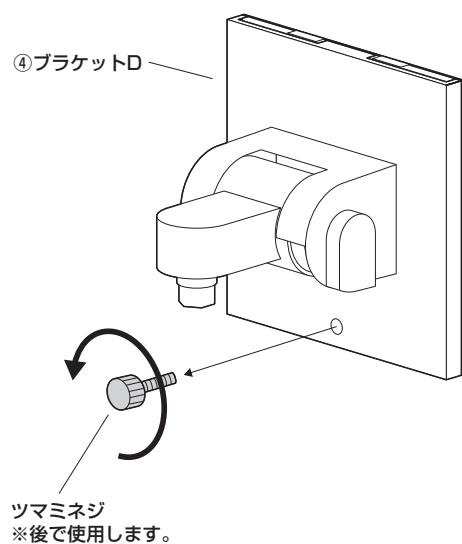


②固定ネジを締め付けます。

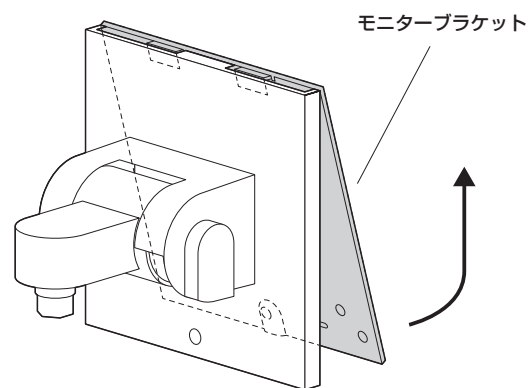


4. ブラケット D のモニターブラケットを取外します。

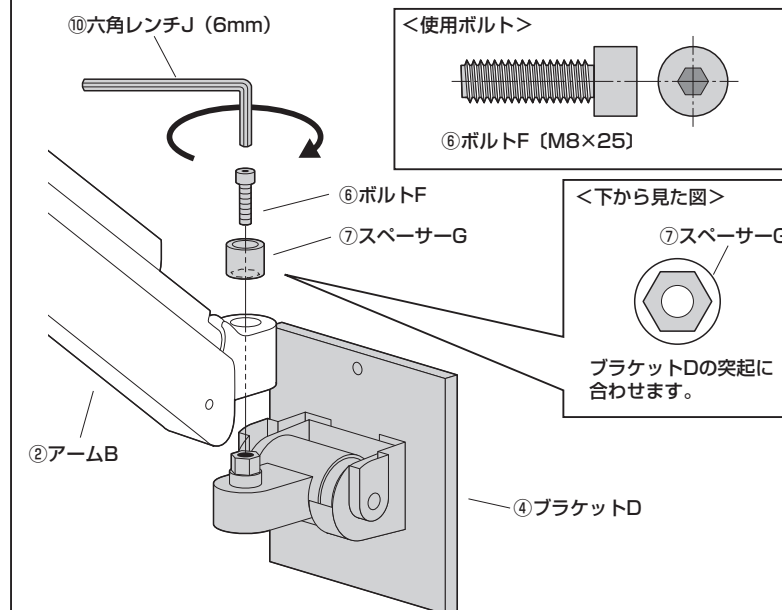
①ツマミネジを緩めて取外します。



②モニターブラケットを取外します。

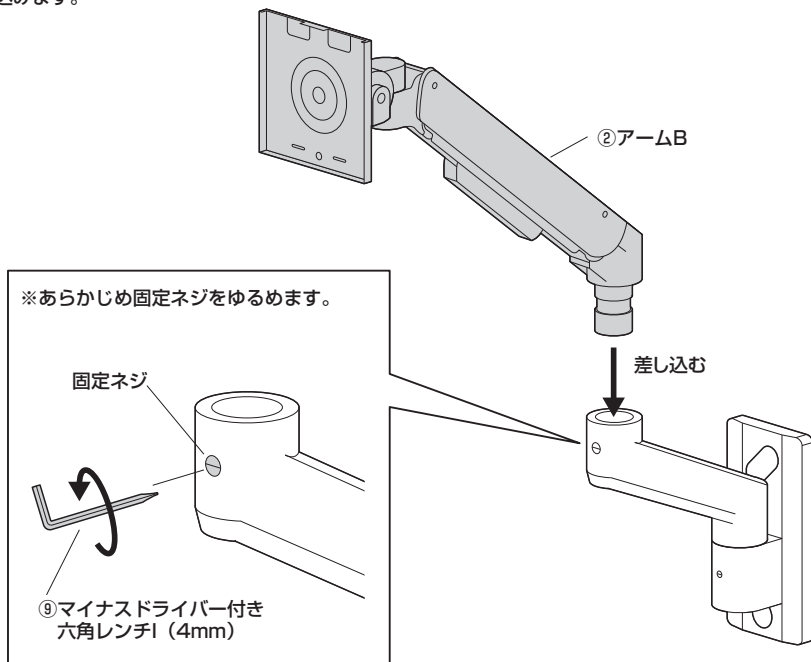


5. アーム B にブラケット D を取付けます。

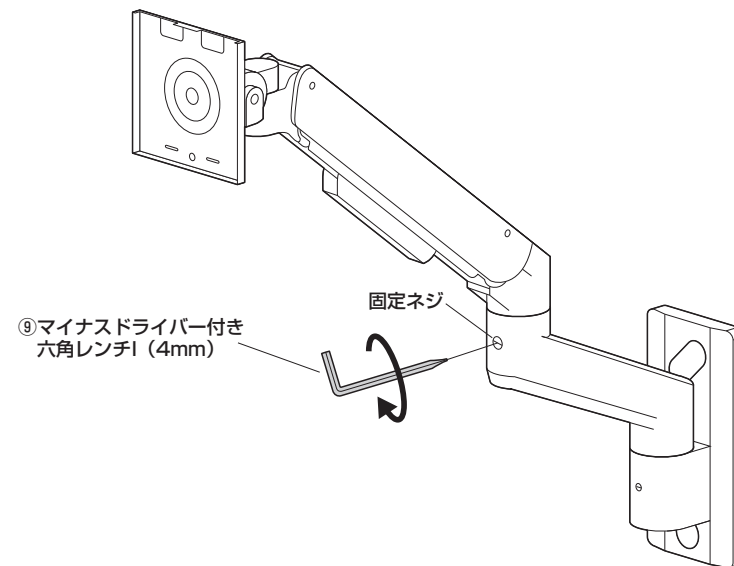


6. アーム C にアーム B を取付けます。

①アームBを差し込みます。



②固定ネジを締め付けます。



7. モニターにモニターブラケットを取付けます。

<注意>

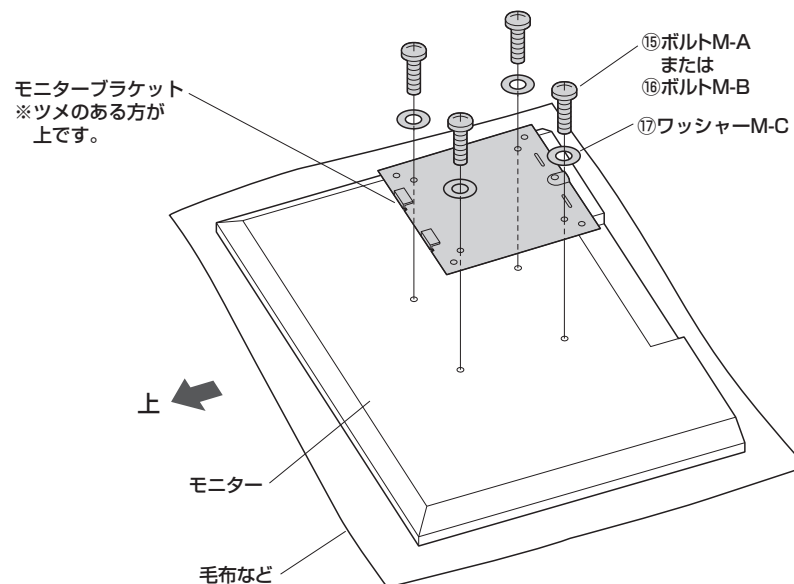
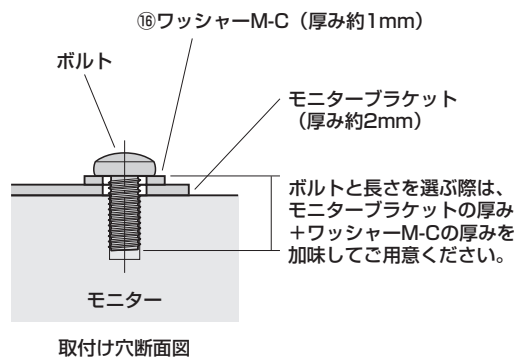
- ・毛布などを下に敷き、モニターへの傷や破損に十分ご注意ください。
- ・モニターに付属しているスタンド類は取外してください。スタンド類の取外し方法はモニターの取扱説明書をご参照ください。

<ボルトの太さ、長さに関する注意>

- ・ボルトが太すぎたり、長すぎたりするとモニターを破損する場合があります。また、ボルトが短すぎるとモニターがしっかりと固定できず脱落する恐れがあります。取付けに適したボルトの太さ、長さは各モニターによって異なります。必ずモニターの取扱説明書や、メーカーへの問い合わせなどで確認の上、適切な太さ、長さのボルトを使用してください。
- ・付属のボルトが合わない場合は、強度に十分ご注意ください。市販の適切な太さ、長さのボルトをご用意ください。

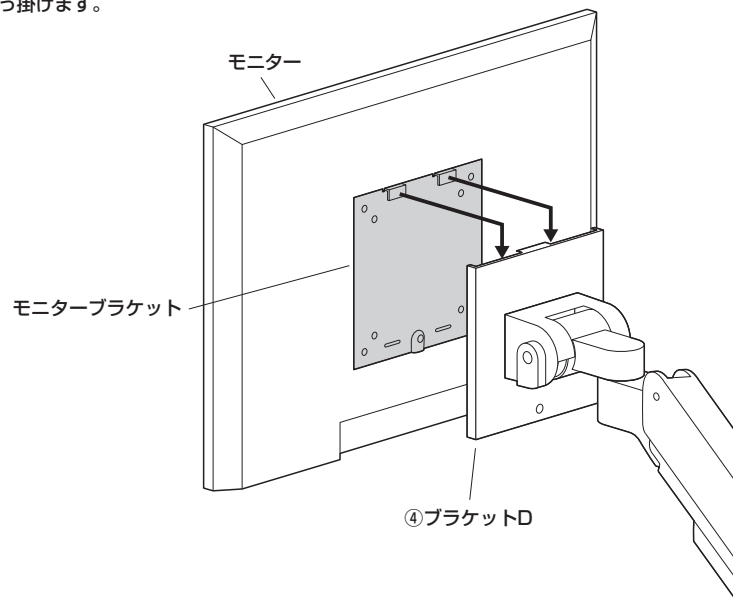
ボルト選定時の注意

※付属のボルトが最後まで締まらない、またボルトが少ししか回っていないなど、ボルトが合わない場合は、強度に十分ご注意ください。市販の適切なサイズのボルトをご用意ください。

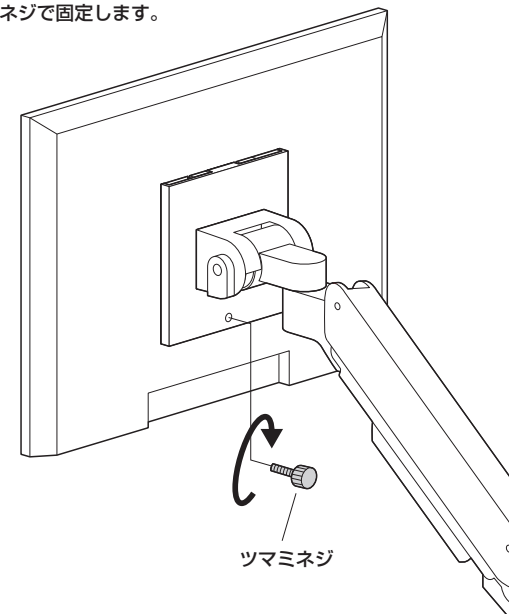


8. ブラケット D にモニターを取付けます。

①モニターを引っ掛けます。

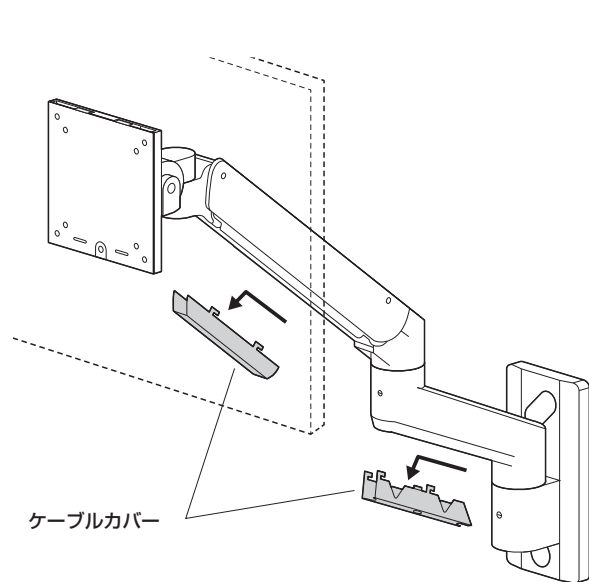


②手順4で取り外したツマミネジで固定します。

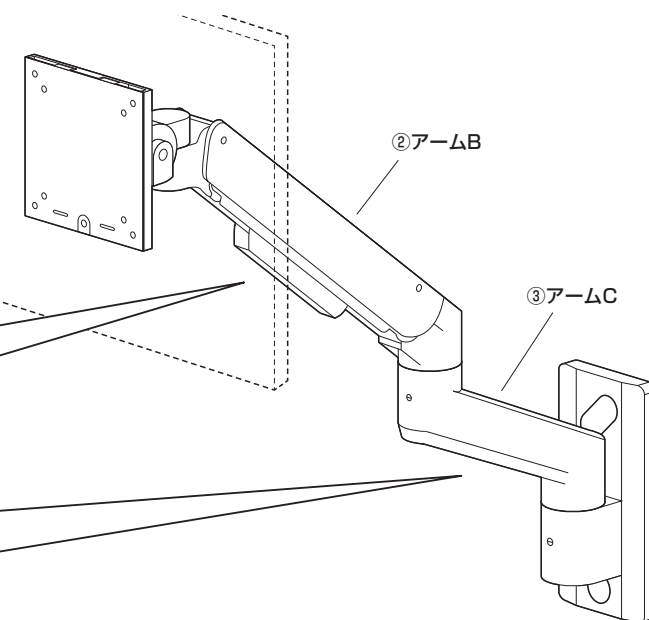
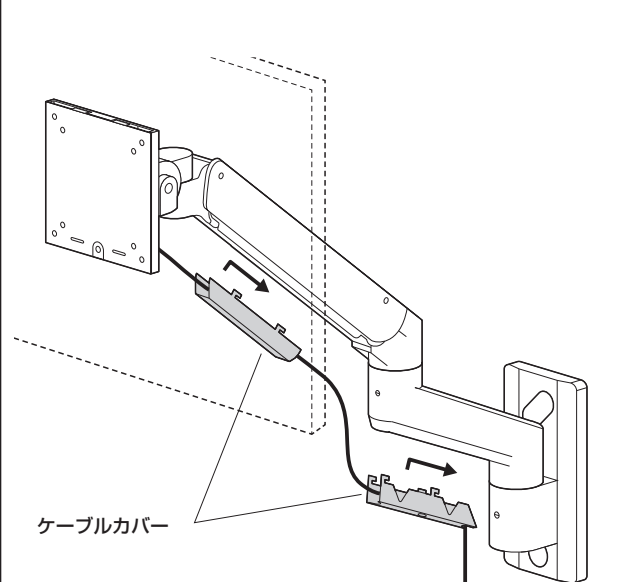


9. ケーブルを通して完成です。

①ケーブルカバーを取外します。



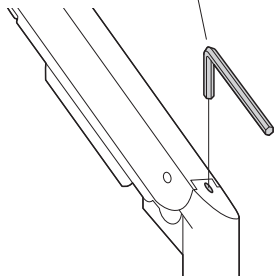
②ケーブルを配線してケーブルカバーを戻します。



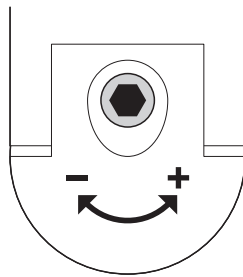
アームの保持力の調整方法

※取付けるモニターに合わせて
アームの保持力の調整ができます。

⑩六角レンチJ (6mm)

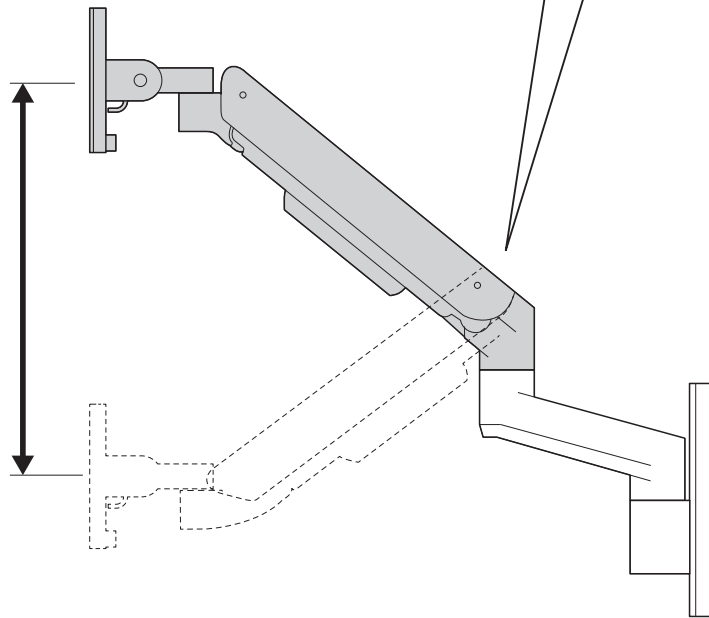


<上から見た図>



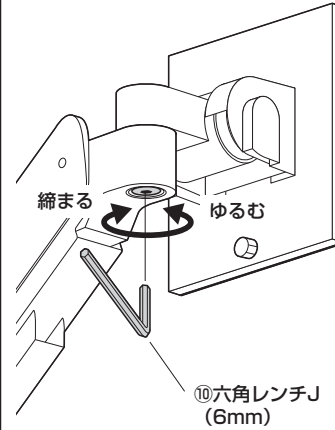
保持力が
弱くなる

保持力が
強くなる



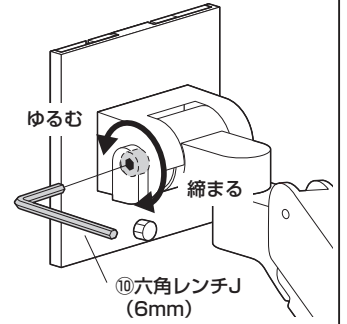
ブラケットの調節方法

ブラケットDの動きが軽すぎたり、
重すぎる場合は六角レンチJ(6mm)で
ボルトを回して調節します。

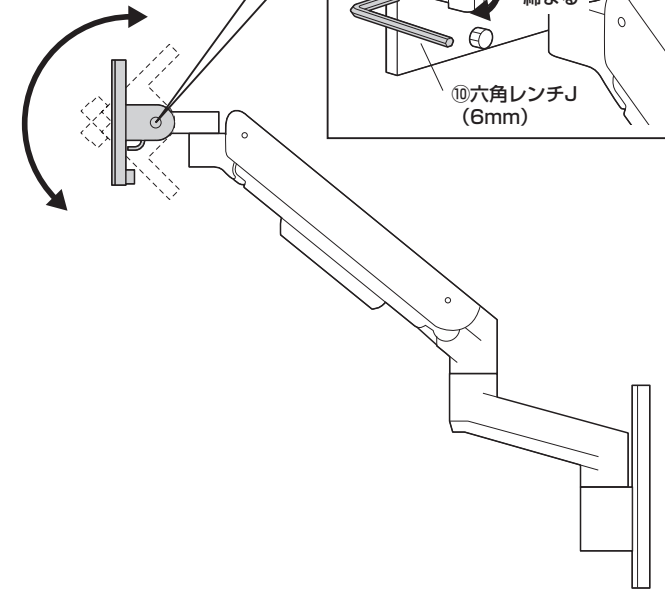
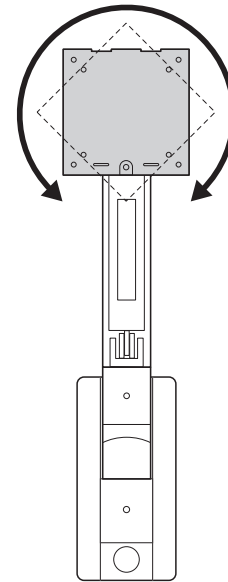


⑩六角レンチJ
(6mm)

ブラケットDの動きが軽すぎたり、
重すぎる場合は六角レンチJ(6mm)で
ボルトを回して調節します。

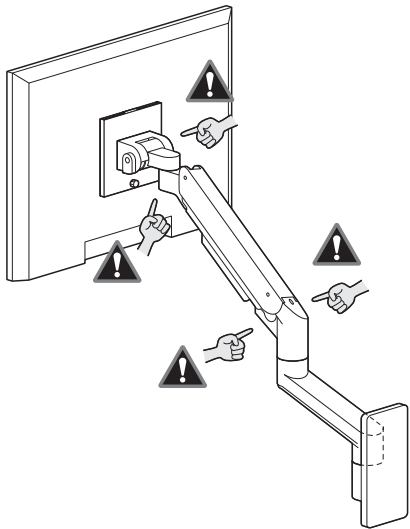


⑩六角レンチJ
(6mm)

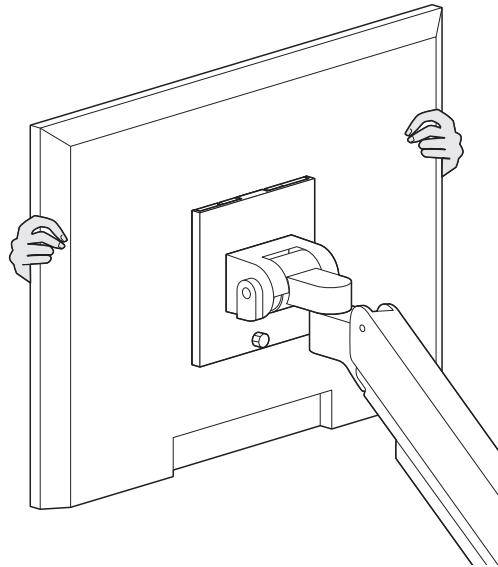


安全の為に注意していただく点

- 可動部分で指などはさまないように注意してください。



- モニターの調整は必ず両手で行い、片手での使用はおやめください。



その他

- 耐荷重を超えるモニターを取付けないでください。
- ブラケットに物を置かないでください。
- モニターは4本のボルトでしっかりと固定してください。
- 本製品を振動のある場所に設置しないでください。
- 用途以外で使用しないでください。
- 部品が外れたまま使用しないでください。
- ボルト・ネジ類がゆるんだまま使用しないでください。
- 本製品を分解・修理・加工・改造はしないでください。
- 本製品に強い振動や衝撃、無理な力を与えないでください。
- 本製品を高温・多湿となる場所や、ホコリや静電気、油煙の多い場所で使用・保管しないでください。
- 本製品を水などの液体で濡らさないでください。また、濡れた手で触れないでください。
- お子様には本製品や付属品を触れさせないでください。
- 本製品のお手入れをする場合には、ベンジンやシンナーなどの揮発性有機溶剤が含まれているものは使用しないでください。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた事故や直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。あらかじめご了承ください。

以上の点に注意して取扱ってください。